

富士ゼロックス 岩手株式会社

車いす贈呈式



2月1日に富士ゼロックス岩手株式会社（畑中俊彦代表取締役社長）から車いすを寄贈いただきました。

同社では社員一人ひとりが毎月の給与の100円未満の額を、会社側も同額を積み立て、社会貢献活動を行う取組を行っています。

その一環として平成20年より毎年、車いすを寄贈いただいております。今回の10台を含めて、これまでの寄贈台数が150台となりました。

ふれあいランド岩手で行われた寄贈式では、畑中社長から岩手県社会福祉協議会 根子専務理事に目録が贈られました。

車いすは県社協を通じて、台風10号災害被災地の福祉施設10か所に寄贈されました。

協豊会

被災地支援物品

トヨタ自動車と会員会社で組織される団体「協豊会」（信元久隆会長／事務局愛知県）より、会員から募った物品（使用済切手・はがき等）による被災地支援活動への寄付をいただきました。



（写真左から）石黒愛知県社会福祉協議会地域福祉部長、夏目事務局長、加藤専務理事、大村局長、協豊会 大野局長、上組榊坂地部長、曙プレーキ 榊丸部長

同会からは、平成24年度から毎年、東日本大震災復興支援物品が寄せられており、物品について集計・換金を行った結果、今回は2,794,557円（これまでの総額21,654,671円）となりました。

この寄付金は、本会の東日本大震災の被災地支援事業のため活用させていただきます。

岩手銀行労働組合

書き損じはがき寄贈



佐々木執行委員長（左）と根子専務理事（右）

2月27日（月）に岩手銀行労働組合（加入者数1,051人 佐々木厚志執行委員長）の佐々木執行委員長と澤口書記長が本会を訪れ、書き損じはがき228枚を寄贈いただきました。

同組合は、2003年度から書き損じはがき、使用済み切手などを寄贈し今回で14回目となり、累計は8,178枚に達しています。

寄贈されたはがきは、「いわて車いすフレンズ」活動の費用の一部（国内輸送費）として役立てられます。

「いわて車いすフレンズ」活動は、県内11校の工業高校生と岩手大学工学部の学生が、使われなくなったり、一部が破損したりした車いすを修理し、東南アジアを中心とした海外に届ける活動です。平成15年度から累計で787台を19か国に寄贈しています。

24時間テレビ39 「愛は地球を救う」

福祉車両贈呈式

8月27～28日に放送された「24時間テレビ39『愛は地球を救う』」を中心として、1年間に寄せられた募金のなかから、岩手県内11か所（うち2か所は台風10号災害による廃車への対応）の社会福祉法人等にリフト付バス、入浴専用車などの福祉



榊崎代表取締役社長（左）

車両が贈呈されました。

3月7日、ふれあいランド岩手で行われた贈呈式では、テレビ岩手の榊崎憲二代表取締役社長から10法人に自動車と目録が、1個人に電動車いすが贈呈されました。東日本大震災以降、岩手県内の社会福祉法人等に24時間テレビから贈呈された車両は90台を超えています。

なお、24時間テレビの活動は、このほかにも台風10号被害の岩手県への義援金贈呈や、岩泉町社会福祉協議会への高圧洗浄機贈呈など、災害復興支援に役立てられています。

一般社団法人 岩手県損害保険代理業 協議会

使用済切手 寄贈



遠藤会長（左）

3月27日、一般社団法人岩手県損害保険代理業協議会（遠藤真喜男会長）の遠藤会長、小笠原副会長 CRS 委員長、大平専務理事が本会を訪れ、使用済切手8,223枚を寄贈いただきました。

今回いただいた使用済切手は、「いわて車いすフレンズ」活動～修理した車いすを海外に使用する際の国内輸送拠点までの輸送費～に役立てられます。